



希望の未来へ!あなたと市政のかけ橋に すずらんジャーナル

船橋市議会議員

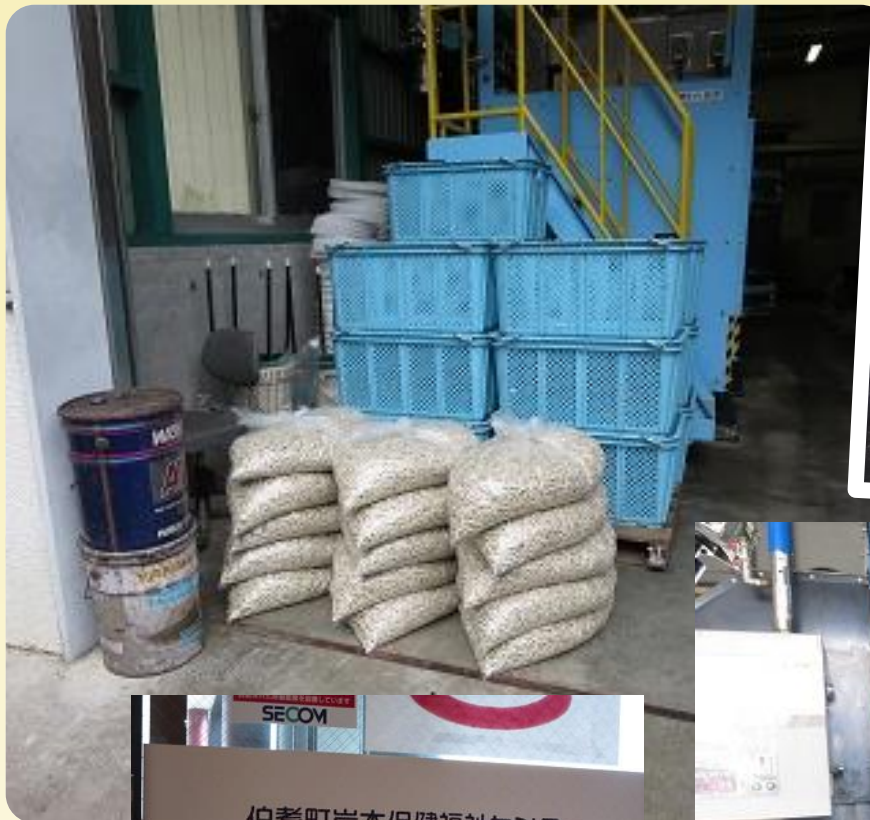
はしもと 和子

2019年 第55号

市民相談はお気軽に

公明党控室 047-436-3032

発行 橋本 和子



鳥取県伯耆町を視察しました。

高齢化に伴い大人用の紙おむつの生産量が過去最高を更新し、ごみとして廃棄される量が急増しています。この『新たなごみ問題』をどうすべきか。会派で先進自治体を視察し、提案をしています。昨年11月には、伯耆町役場へ行き、民間事業者と連携して、使用済み紙おむつを、固形燃料に変え、バイオマスボイラーで、お湯を沸かして温泉を提供している様子を視察しました。環境省では、2019年度中に、使用済み紙おむつのごみの減量化に向け、リサイクルを自治体に促すガイドライン(手引き)を発表する予定ですが、『紙おむつはリサイクルできる』という認識がまずは必要です。

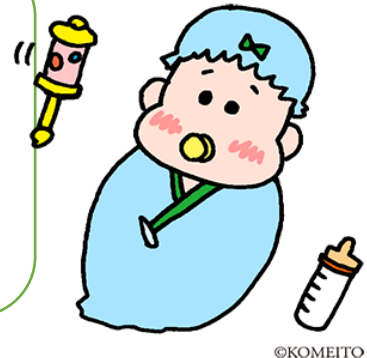
低体重児支援について

船橋市では、年間約5,000名の赤ちゃんが生まれています。そのうちの約450名が、2,500グラム以下の低体重児です。

母子健康手帳は、妊娠期から幼児期までの健康・成長を記録する大切なツールですが、低体重児の場合、手帳に記載されている平均より成長がゆっくりで、親は子の成長が実感できずに、不安になってしまいます。

なかでも、1,500グラム以下の赤ちゃんは成長がゆっくりで、1歳6か月児検診の間診票が届くと憂鬱になるお母さんが多くいます。

静岡県では、不安の中で育児を始めるお母さんたちを励まそうと、低体重児向けの母子手帳「しずおかリトルベビーハンドブック」を作成し、県内外に反響を呼んでいることを紹介し、船橋市でも、低体重児向けの母子健康手帳の作成を求めました。



この手帳により、不安解消や心の支えになると聞いているので、通常の母子健康手帳を補う形での速やかな導入を検討する。



出産直後の一番つらい時に、このような冊子をもらうことは、とても心強く、不安による、虐待や育児放棄を防ぐ効果もあると思います。

本市には、周産期母子医療センターがありますのでよく連携して、小さく生まれた子専用の母子健康手帳を早急に作成し交付してほしいと思います。

ペアレントメンター

ペアレントメンターとは、自閉症などの発達障がいのある子供を育てた経験がある保護者等で、同じように発達障がいの診断を受けた子供をもつ保護者等に対して、自身の子育ての経験から相談に応じたり、また有益な情報を提供したりするボランティア支援者のことで、ペアレントparentは親、メンターmentorは信頼のおける相談相手という意味があり、厚生労働省は、発達障害者支援体制整備事業のなかで、ペアレントメンターの養成を行う自治体への支援を2010年度から開始し千葉県でも行っています。

ペアレントメンターの良い所は、専門的な本や、教科書にはない、自分が経験したことや情報を、相手に伝える事ができます。また、発達障がいの子を育てている親として、寄り添うことができます。

専門家でもなく、支援者でもなく、親でなければ分からないことも、生の声として、伝える事ができます。

私は、小さく生まれた子を持つ親への支援として、ペアレントメンターを養成し、様々な角度で、子育て中の親に対し支援することが必要だと思います。



©NEW KOMEITO

小さく生まれた子を持つ親への支援は、各保健センターの地区担当の保健師等が個別に行っている。しかしながら、実際に小さく生まれた子の子育て経験を伝え相談にのる役割としてのペアレントメンター制度は重要と考えているので、先進自治体の取り組み状況等研究する。

保健と福祉の総合相談窓口「さ~くる」

高齢者、障がい者、子ども等どこにも該当しない、制度のはざまにある人や、困りごとが沢山ありどこに相談したらいいのか分からない。書類の書き方が分からない。経済的なことで困っているなど、対象を限らないワンストップの相談窓口です。

所在地 船橋市湊町2-8-11 船橋市役所別館1階

電話 **047-495-7111** (月~金 午前9時~午後5時)



ふなばし健康ダイヤル24 【0120-2784-37】

24時間365日、健康・医療・介護・育児・メンタルヘルス等の相談に医師・保健師・看護師などの専門家が応じます。

また、最寄りの医療機関や夜間・休日に受診できる医療機関の案内を行っています
例えば、

- ・ 家族の介護のことで相談したい
- ・ 不慮のケガの応急手当でどうすればいいのか
- ・ 病気のことですべて一人で悩んでしまう時
- ・ 赤ちゃんが夜中に熱を出した、どこの病院に行けばいいのか



はしもと 和子 090-5574-9079

ホームページ hashimoto-kazuko.jp

facebook

twitter

市政に関するご意見・ご要望をお寄せください。

S.35年 長野県軽井沢町生まれ 小諸商業高等学校卒業

八十二銀行入行 S.57年より船橋市在住 H.27年より保護司

